

日本蜘蛛学会 第50回大会

会期：2018年8月25日（土）・26日（日）

会場：広島大学 東千田キャンパス（広島市中区東千田町1-1-89）
東千田校舎A棟 A302、A404、A501

日 程

8月25日（土）

受付	9:00 ~
開会	9:50
一般講演（口頭発表）	10:00 ~ 11:00
奨励賞授賞式	11:10 ~ 11:20
奨励賞受賞講演	11:20 ~ 11:50
写真撮影	11:50 ~ 12:00
昼食	12:00 ~ 13:00
一般講演（口頭発表）	13:00 ~ 13:30
ポスター発表	13:30 ~ 14:50
シンポジウム	15:00 ~ 17:00
総会	17:10 ~ 18:00
懇親会	18:30 ~ 20:30

8月26日（日）

受付	8:45 ~
一般講演（口頭発表）	9:15 ~ 11:55
次期大会の案内	11:55 ~ 12:00
閉会	12:00
一般公開シンポジウム	13:30 ~ 16:00

大会案内

受付

- ・受付は会場入り口に設置します。
- ・当日参加も可能です（大会参加費：一般 3000円、学生 2000円）。
- ・懇親会の当日参加は、余裕がある場合のみ可能です。ご相談ください（懇親会参加費：一般 5000円、学生 4000円）。
- ・懇親会参加者の名札には赤丸を付けますので、受付時にご確認ください。

一般講演（口頭発表）

- ・会場は3階302講義室です。
- ・講演時間は15分です。発表12分、質疑3分を目安にしてください。10分で1鈴、12分で2鈴、15分で3鈴を鳴らします。3鈴が鳴りましたら、直ちに講演を終えてください。
- ・講演用のファイルはPower Point形式でご用意ください。ファイルはUSBメモリー等で持参いただき、午前に発表の方は開始時刻まで、午後に発表の方は昼食終了までに、会場の発表用パソコンにコピーし、適正に映ることを確認してください。
- ・講演時の機材操作は各自でお願いいたします。
- ・手持ち機器の利用も可能ですが、その場合には事前に接続の確認をお願いします。念のため、USBメモリー等でのPower Pointファイルもお持ちください。
- ・発表者は、次の講演の座長をお願いします。発表終了後は、速やかに座長席に移動してください。

ポスター発表

- ・会場は4階404講義室です。
- ・縦180cm、横90cmくらいのポスターボードを用意します。受付が終わったら、直ちにポスターを掲示してください。押しピンやテープ等は事務局で用意します。
- ・25日（土）の13:30～14:50がポスターセッションの時間です。奇数番号の方は13:30～14:10まで、偶数番号の方は14:10～14:50までポスター前で説明をお願いします。
- ・ポスターは、可能であれば大会終了時までご掲示ください。

懇親会

- ・8月25日（土）18:30から、料亭 久里川（東千田町3-2-3）で行います。懇親会場には徒歩で移動します。

昼食

- ・昼食は、各自でご準備をお願いいたします。
学内の食堂は休業です。近くに、コンビニがあります。

宿泊

- ・各自でご手配をお願いいたします。

駐車場

- ・車でお越しのかたは、周辺のコインパーキング等をご利用ください。構内にも駐車場がありますが、駐車可能台数が少なく利用料金が周辺より高くなっています。

会場への交通

◆ バスをご利用の方

【JR 広島駅から】 約 12 分、220 円
アルパーク方面行き 広島バス(50 号東西線)
日赤前下車 徒歩約 2 分

◆ 市内電車(広電)をご利用の方

【JR 広島駅から】 約 30 分、180 円
紙屋町経由広島港行 広電 1 号線
日赤病院前下車 徒歩約 3 分

【JR 横川駅から】 180 円、約 25 分
広電本社前行 広電 7 号線
日赤病院前下車 徒歩約 3 分

【JR 西広島駅から】 約 30 分、180 円
紙屋町経由宇品二丁目/広島港行 広電 3 号線
日赤病院前下車 徒歩約 3 分

◆ 広島空港をご利用の方

広島空港リムジンバス 1340 円

1. 広島駅新幹線口行き 約 45 分
JR 広島駅からは、左記バスまたは市内電車
利用参照

2. 広島バスセンター行き 約 53 分
広島バスセンターから、徒歩で地下街「シャ
レオ」を通して広電「本通」電停へ
市内電車(広電 1, 3, 7 号線)
約 10 分、180 円
日赤病院前下車 徒歩約 3 分

日赤病院前(電停)

進行方向に向かって左前方です



8月25日(土)

9:00 開場・受付開始

9:50 開会

一般講演(口頭発表) ※学生発表賞対象講演

10:00 O-1 ○鈴木佑弥¹・横井智之²・池本美都² (¹筑波大・生命環境, ²筑波大院・生命環境)
クモ食性クモ類における成長に伴う食性変化

10:15 O-2 長野宏紀(東農大・農) ※
日本産トタテグモ下目の胸内板の形態

10:30 O-3 ○古賀 存・村田浩平(東海大・院) ※
モウソウ竹林の枯竹内部における節足動物相とヒゴユウレイグモの生態

10:45 O-4 新海 明[八王子市]
コスパが魅力(T構造の節約的な造網法の検討)

11:00 ~ 11:10 <休憩>

奨励賞受賞式・受賞講演

11:10 ~ 11:20 奨励賞受賞式
第9回日本蜘蛛学会奨励賞: 須黒辰巳(慶應義塾幼稚舎)

11:20 ~ 11:50 奨励賞受賞講演
須黒辰巳(慶應義塾幼稚舎)
「ハエトリグモハンドブック」ができるまで

11:50 ~ 12:00 写真撮影

12:00 ~ 13:00 昼食

一般講演(口頭発表)

13:00 O-5 ○高須賀圭三^{1,2}・河野暢明¹・富田 勝¹・荒川和晴¹
(¹慶大・先端生命研, ²JSPS Research Fellow)
ニールセンクモヒメバチによって造網行動を操作されるギンメッキゴミグモの発現変動解析

13:15 O-6 ○河野暢明¹・中村浩之²・大利麟太郎²・富田 勝¹・荒川和晴¹
(¹慶大・先端生命研, ²Spiber(株))
造網性蜘蛛を中心とした大規模マルチオミクス解析から見る蜘蛛系の系統進化

ポスター発表 13:30 ~ 14:50

13:30 ~ 14:10 奇数番号ポスター

14:10 ~ 14:50 偶数番号ポスター

ポスター発表タイトル一覧

- P-1 関根幹夫 [奈良県三郷町]
和歌山県におけるクロガケジグモの分布
- P-2 ○小野展嗣¹・清水 晃²・緒方清人³ (¹国立科学博物館, ²首都大学東京, ³中部蜘蛛懇談会)
オキナワトタテグモ *Latouchia swinhoei* を狩るコシブトクモバチの1種 *Morochoares nigripennis okinawanus*
- P-3 ○村田浩平・古賀 存・井手脩人 (東海大・院)
キムラグモ類の生息状況と熊本地震
- P-4 原口 岳 (総合地球環境学研究所)
日本産蜘蛛生態・分布情報データベース化の試み: 日本産蜘蛛類多様性の生態学的概観
- P-5 川本篤示¹・○鶴崎展巨² (¹鳥取大・地域, ²鳥取大・農)
愛媛県久万高原町におけるイラカザトウムシの染色体交雑帯の初確認と核型分化
- P-6 梶元敏也 (河合塾)
ササグモにおける外雌器下部の脱落現象

14:50 ~ 15:00 <休憩>

シンポジウム 15:00 ~ 17:00

テーマ「交尾器から見えてくる進化と生態」

- 15:00 ~ 15:10 趣旨説明
- 15:10 ~ 15:40 S-1 高見泰興 (神戸大・人間発達環境)
生態と進化の間に介在する性的対立とオサムシの交尾器
- 15:40 ~ 16:10 S-2 中田兼介 (京都女子大学)
交尾器破壊がメスの繁殖回数決定に果たす役割
- 16:10 ~ 16:40 S-3 井原 庸 (広島県環境保健協会)
ヤミサラグモの錠と鍵、ナミハグモの交尾栓
- 16:40 ~ 17:00 総合討論
- 17:10 ~ 18:00 総会
- 18:30 ~ 20:30 懇親会

8月26日(日)

8:45 開場・受付開始

一般講演(口頭発表)

- 9:15 O-7 繁宮悠介(長崎総科大)
ミナミノシマゴミグモの交尾における回転行動の意味
- 9:30 O-8 中田兼介(京都女子大学)
ギンナガゴミグモのメスによる配偶者選択と交接経験との関係
- 9:45 O-9 田中一裕(宮城学院女子大学)
ハラクロコモリグモの歩行活動リズム
- 10:00 O-10 小野展嗣(国立科学博物館)
ミャンマーにおけるハラフシグモ属 *Liphistius* の分布と分類 (Araneae: Mesothelae)
- 10:15 O-11 ○谷川明男¹・新海 明²・宮下 直¹ (1東大・農・生物多様性, 2日能研関東)
九州産キムラグモ類の系統地理学的研究
- 10:30 O-12 ○鶴崎展巨¹・佐々木慎平³・唐沢重考¹・川本篤示²・柏木峻秀²・上島 励³
(1鳥取大・農, 2鳥取大・地域, 3東大・院理・生物)
中四国のアカサビザトウムシ種群の核型分化と系統地理: コゲチャザトウムシ=クロザトウムシ
- 10:45~10:55 <休憩>
- 10:55 O-13 ○安倍 弘¹・田中亜季²・吉成 暁³
(1日大・生物資源, 2熊本大・先端科学, 3いであ(株))
地下水生のミズダニ *Yachatsia mideopsoides* の北太平洋両側分布について
- 11:10 O-14 奥村賢一(長崎県立長崎鶴洋高等学校)
ヤチグモ分類における雌内部生殖器の再評価
- 11:25 O-15 ○田中幸一^{1,2}・馬場友希¹ (1農業環境変動研究センター, 2東京農大)
広島県と愛媛県の水田におけるクモ類群集: 特にアシナガグモ属の個体数
- 11:40 O-16 ○馬場友希・片山直樹・田中幸一(農研機構 農業環境変動研究センター)
水田における環境保全型農法は土着天敵による害虫防除機能を高めうるか?
- 11:55~12:00 次期大会の案内
- 12:00 閉会

一般公開シンポジウム 13:30 ~ 16:00 A棟 501 講義室

13:00 開場・受付開始

テーマ「遠そうで近い生物多様性：クモ、そして・・・」

13:30 ~ 13:40 開会の挨拶

13:40 ~ 14:15 鶴崎展巨（鳥取大学農学部）
東千田町発のクモガタ類の多様性生物学と中国山地における本類の種分化

14:15 ~ 14:50 荒川和晴（慶應義塾大学先端生命科学研究所）
生物に学ぶタンパク素材によるものづくり ～人工クモ糸の挑戦

14:50 ~ 15:00 <休憩>

15:00 ~ 15:35 宮下 直（東京大学大学院農学生命科学研究科）
生物多様性と私たちの暮らしを考える

15:35 ~ 16:00 質問と解説